

・ 今回は過去に10プロで実施していた「勉強会」を思い出すような回でした。

前回、陽子さんから「目標」と「ないものねだり」を区別することを伝えられたうえで、昨年の振り返りと今年の目標を共有しようという趣旨の回でした。

私を含めて、今のイメージが具体的な行動につながる「目標」というよりは、これからこうしたいということを伝える「抱負」を共有し合ったと思います。

これまで何年も年間の目標設定を皆と行ってきましたが、共通の課題である「コミュニケーション」については劇的な改善が見込めないまま来ていると思います。

私は、今の自分からはありえない理想像を描き、「理想だから届かなくてもいいや」と内心言い訳を許して過ごしてきました。

昨年秋から始めた取り組みは、もうこれ以上はダメだという危機感から派生した、強迫観念的な、世の中ではあまり理想とされないやり方ですが、現実には、今私を動かしているのはそういった思いなのだと思います。

理由が何であれ、継続することで生まれた変化を感じつつあるので、まずは1年、今の取り組みを継続しようというのが今の思いです。

途中、あるメンバーの「育ちの良さ」について話しました。

コートは十年単位で着るものという価値観は、育ちの良さを反映していると感じたのです。

多くの世代でそうではない服の着方や選び方になっていると思うので、それ故に、そのメンバーが周りの人との差を感じて、戸惑うこともあるのだと思ったのです。

陽子さんから、安い世界も知っていることで、マリーアントワネットの逸話である「パンがないならケーキを食べれば」という要らぬトラブルも避けられることを伝えられました。

私は逆に、安い世界の方に近い部分もあると思いますが、それでも、会社の中ではベテランの正社員という少ない方の立場に居ることを自覚して話さないと、若手や違う立場の人と要らぬトラブルや関係性を冷めさせる発言をしてしまうのだと思いました。

また、あるメンバーから聞いた「子供がいないことへの罪悪感」について、私自身は子供がいますが、「社内のために」や「人類としての役割を果たすために」出産しようしたという思いがなかったのも、その罪悪感は不要なものではないかと思って尋ねました。

陽子さんから、「ホモサピエンス」(生き物)としての価値がないことは感じつつも、だからこそ「人間として教育や育成に力を尽くす」と思っているということが伝えられました。

出産した人は意識しない点であっても、その経験がないという事実を客観的に認めたくて、じゃあ社会で何を成すかということまで考えることが重要なのだと思いました。

このことは出産だけではなく、自分が負い目に感じる経験に対して、一般的に言えることなんだと思いました。

最後に、陽子さんから2つの宿題を頂きました。

一つは、2026年12月にチーム全体として何が得られたと感じられるか、チーム全体で成し遂げることを決めてほしいということでした。

もう一つは、アドバンスの数日前の夜に、陽子さんが仕事の都合で大阪に来られたとメッセージをくれていたものの、

誰からも何をしていたのかの突っ込みがなかったのは何故なのかという問いかけでした。

勝手に皆「聞いてはいけない何か」を感じて黙っていたものの、陽子さんが明かしてくれた1日の過ごし方は、ある意味で陽子さんらしい、私たちが想像した過ごし方でした。

では何故聞けなかったのかというところに、私が陽子さんを「仲間」にまだ位置づけられていないということの現れなのだと思います。

今回は多くの人々が年末年始休暇で何かしら年のことを考え、仕事始めとなったタイミングで行われたベストなタイミングの回だったと思います。

1年の終わりに、個人として、ここにいるメンバーの集まりとして、進んだと感じられるよう、1年を過ごしていきたいと思います。

今回、このような回を企画してくれた陽子さん、同席した皆さん、ありがとうございました！

(A.S 40代女性 大阪府)